



伊野南小学校

◆全日本書写書道教育研究大会・高知大会

10月31日に、全国からたくさんの方をお迎えし、「第55回 全日本書写書道教育研究大会・高知大会」を本校で開催することができました。特別支援学級をはじめ全学級が公開授業をし、たくさんの先生方に見ていただくことができました。

今回の大会テーマは「書字文化を育む書写書道教育」ということなので、本校の研究テーマの「特別支援教育を視点においた授業改善」ユニバーサルデザインのプロデュースを融合させ、電子黒板を活用しながら「どの子にも分かる・できる」授業に取り組みました。参加された先生方からは、好評価を得ることができました。今回取り組んだことが、日常化を目指す



書写学習に繋がっていくと嬉しいです。

◆スウェーデンとの国際交流

今から4年前、スウェーデンのヨハンナ先生が勉強のため、約1か月間高知県に滞在された折、伊野南小学校にご家族を連れて一緒に学習交流したときがありました。それがきっかけとなつて、11月にBORAS（ボラス）の小学校の教頭先生をはじめヨハンナ先生の4名の先生たちが授業を参観しました。家庭科や理科の授業のほかに、道徳の授業についても熱心にご覧になりました。特に日本の道徳教育では、権利や義務、そして価値などをどのように教えているか興味を持って聞いていました。右下のマスクット人形は、理科の授業に使っているベルタ（ドラゴン）をプレゼントとしていただきました。

今から4年前、スウェーデンのヨハンナ先生が勉強のため、約1か月間高知県に滞在された折、伊野南小学校にご家族を連れて一緒に学習交流したときがありました。それがきっかけとなつて、11月にBORAS（ボラス）の小学校の教頭先生をはじめヨハンナ先生の4名の先生たちが授業を参観しました。家庭科や理科の授業のほかに、道徳の授業についても熱心にご覧になりました。特に日本の道徳教育では、権利や義務、そして価値などをどのように教えているか興味を持って聞いていました。右下のマスクット人形は、理科の授業に使っているベルタ（ドラゴン）をプレゼントとしていただきました。



神谷小中学校

◆防災参観日



10月19日、南海トラフ地震に備え、防災対応力の向上を図ることを目的に、保護者や地域の方を交えて体験学習「神谷・防災DAY」（防災参観日）を実施しました。

午前は、「竹の使い道・利用方法」と「土砂災害」について、小学1年生～4年生、小学5年生～中学3年生に分かれての防災学習を実施しました。続いて「休み時間に地震が発生、緊急地震速報を使用した避難訓練」を行い、その流れを受けて「地震が発生したこと保護者が児童を迎えに来る・地域の方が学校へ避難して来る」という想定で、児童は保

護者への「引き渡し訓練」を、中学生は「地域の方を受け入れる避難所開設訓練」を実施しました。中学生は体育館入り口で地域の方を受け入れるとともに、地区ごとに体育館の割り振られた場所へ誘導する役割を精力的に果たしてくれました。

その後、参加者全員で非常時のサブイバル体験として、竹食器づくりや、飯盒炊飯、竹釜飯づくり、災害用アルファ化米の試食を行いました。保護者も児童生徒と共に熱心に取り組んでいただき、指導してくださった森林ボランティアの方からも褒めの言葉をいただきました。

午後は、仁淀消防の皆さんと日本防災士会高知の方に協力いただき、三角巾や竹を使った応急処置やロープワーク、簡易段ボールトイレ、空き缶ソークなど、非常時に役立つグッズの作り方・使い方について学びました。

